

うみ こ ふん
海の古墳

70 × 60 cm

⑤

銚子山古墳の潟湖イラスト作成予定
(このイラストは神明山古墳の潟湖)



こ ふんじだい げんざい あみの し がいち かいがんせん はい こ せきこ てんねん
古墳時代、現在の網野の市街地まで海岸線が入り込み、潟湖とよばれる天然の良港となっていました。この港を見下ろす場所に古墳が造られていることから、ここには、海を通じて日本海側の地域や朝鮮半島との交易を行っていた有力者が葬られていると考えられています。

令和7年3月 京丹後市教育委員会

あみの ちょうし やま こ ふん
網野銚子山古墳

くに して い し せき
国指定史跡

120 × 60 cm

②

古墳時代前期後半（4世紀後半：西暦350～400年の間）に造られた前方後円墳で、墳丘の長さ201m・高さ17mです。墳丘の大きさは京都府下で最大、全国的にみても日本海側最大の古墳と知られています。

墳丘は3段に築かれ、その斜面全面には石が積み重ねられていました（葺石）。また、段ごとに造られた平坦面や頂上の広場（墳頂）には、埴輪が並べられていました。さらに、墳丘の周りには、深さ1m程度の浅い堀（周濠）がめぐらされていました。

頂上の円形広場の中心にお墓の主が葬られていると考えられています。



史跡指定名称 銚子山古墳 第一、二古墳
指定年月日 大正11(1922)年3月8日
追加年月日 平成23(2011)年9月21日
指定面積 37,743.23㎡
史跡の年代 古墳時代前期後半
指定理由 丘陵上にある前方後円墳です。大型で、古墳の形がよく残っていることから、南の小銚子古墳(第一古墳)や、北の寛平法皇陵古墳(第二古墳)とともに、国の史跡に指定されています。

網野銚子山古墳は貴重な文化財です。史跡大切に守り伝えていくため、地面を掘るなど史跡を傷つける行為はやめましょう。



明治31(1898)年撮影の網野銚子山古墳



寛平法皇陵古墳
網野銚子山古墳
小銚子古墳
赤色立体地図(平成27年撮影)

令和7年3月 京丹後市教育委員会

はにわ なら
埴輪を並べる


60 × 40 cm

④

並べられた埴輪は、丹後地域しか見つかっていない特徴的な形の「丹後型円筒埴輪」でした。その数なんと推定2000本!

はにわ だん きす ふんきゆう ちょうじょう
埴輪は、3段に築かれた墳丘の頂上と、段ごとに造られた平坦面の縁に、並べられていました(埴輪列)。また、埴輪の周りには小さな丸みのある石が敷き詰められていました(礫敷)。

さらに、墳丘がくびれる部分の平坦面は、後円部側から前方部側へ徐々に下るスロープ状の構造であったことが分かりました。



くびれ部の埴輪列とスロープ状の平坦面(平成30年度-2tr)

令和7年3月 京丹後市教育委員会

いし ぶ
石を葺く

60 × 40 cm

③

※ここに再現された葺石は、底石以外、古墳に使われていた本物の葺石を利用しました。

積み上げた土が雨などで崩れるのを防ぐため、墳丘の斜面全面には、石が積み重ねられました(葺石)。石の山のようその姿は、太陽の光で輝いて見えたことでしょうか。中には56cmの大きな石もありました。これらの石は、近くの福田川の川原などから運ばれたものでした。



後円部上段斜面(平成30年度-1tr)

令和6年3月 京丹後市教育委員会

こ ちょうし こ ふん
小銚子古墳

史跡指定名称：第一古墳

60 × 40 cm

⑥

直径36m・高さ4.8mの円墳です。墳丘は2段に築かれ、斜面全面には石が積み重ねられ(葺石)、途中の平坦面に埴輪が並べられていました。頂上部分は未調査のため、どんな人が葬られていたかは判っていません。埴輪の形から、網野銚子山古墳と同時期(古墳時代前期後半)と考えられています。



平坦面に並ぶ埴輪列と上段斜面の葺石(左)と下段斜面の葺石(右)

丹後型円筒埴輪

令和7年3月 京丹後市教育委員会

かんびょうほう おうりょう こ ふん
寛平法皇陵古墳


史跡指定名称：第二古墳

60 × 40 cm

⑦

大きく削られているので、古墳の形や墳丘の斜面に石が積み重ねられていたか、埴輪が置かれていたかはわかりません。網野銚子山古墳より後の古墳時代中期の古墳と考えられています。江戸時代中期の本(『丹後府志』など)に、寛平法皇陵に石櫃(石室?)が見つかり、中に石枕や大刀、陶器、勾玉があったこと、埋め戻して祠を建てたことが書かれています。

寛平法皇とは、平安時代前期の宇多天皇(867-931年)のことです。



古墳の上に現在も建つ祠

石枕(京丹後市指定文化財) 本寛寺所蔵【非公開】/古墳時代中期

令和7年3月 京丹後市教育委員会


史跡設置の説明板には、指定理由を書く必要あり(文化財保護法)。

★大正11年の指定理由(下記参照)を現代版に改変

前方後円型ニシテ丘陵ノ上ニ在リ 東北二面ス前後ノ直径約百十間後圓部ニハ古松林立ス 大形ニシテ形状ノ完備セルモノナリ
第一古墳ハ銚子山古墳ノ南方約四十間ニ在リ 小銚子ト名ク 前方後円型ニシテ西南二面ス前後約三十五間全墳松樹アリ
第二古墳ハ銚子山古墳ノ前面右方約十間ニ在リ 墳上ニ石櫛ヲ露出シ上ニ祠堂ヲ建ツ 寛平堂ト名ク

現地説明板の方向性

- ・対象 一般的な観光客や児童生徒(概ね小学5年生程度が理解できる内容)
- ・サイズ・色 史跡の景観に配慮し、背は低く、小型で設置場所周辺に馴染む背景色でデザイン。UDフォント使用などユニバーサルデザインを考慮。
- ・内容 対象にあわせ、読みやすい表現とし、ルビを付ける
※古墳愛好家を想定したやや詳しい内容はガイダンス施設のパネルで対応
- ・その他 ②の銚子山古墳全体説明板は、文化財保護法に定められた史跡説明板の要件に基づいたもの設置
将来的には、「京丹後歴史文化めぐりマップ」やQRコードで別サイトに誘導する形で多言語化に対応する



A1 (594×841mm)

日本海三大古墳の筆頭 網野銚子山古墳



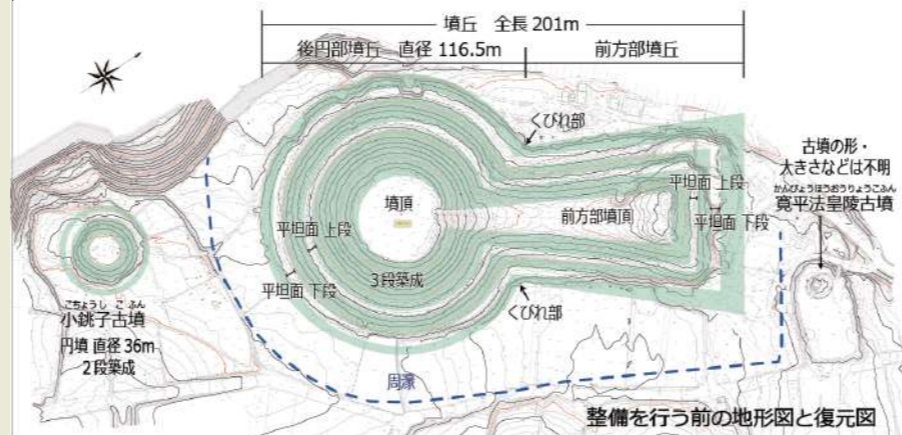
墳丘長 201m・日本海側最大の前方後円墳である網野銚子山古墳。古墳時代前期後半（4世紀後半：西暦 350～400 年の間）に造られたと考えられています。神明山古墳（190m / 京丹後市）、蛭子山古墳（145m / 与謝野町）とともに、日本海三大古墳と呼ばれています。日本海側にある古墳のトップ3 がすべて丹後地域に集中していることから、この地域に「丹後王国」とも呼べるような勢力のあった可能性が指摘されています。

くにしていしせき していめいしやう しせきちやうしやま たいち たいにこふん
国指定史跡 [指定名称：史跡銚子山古墳 第一、第二古墳]
網野銚子山古墳は、南の小銚子古墳（第一古墳：4世紀後半）、北の寛平法皇陵古墳（第二古墳：おそらく5世紀）とともに、大正 11（1922）年 3 月 8 日に、国の史跡に指定されています。

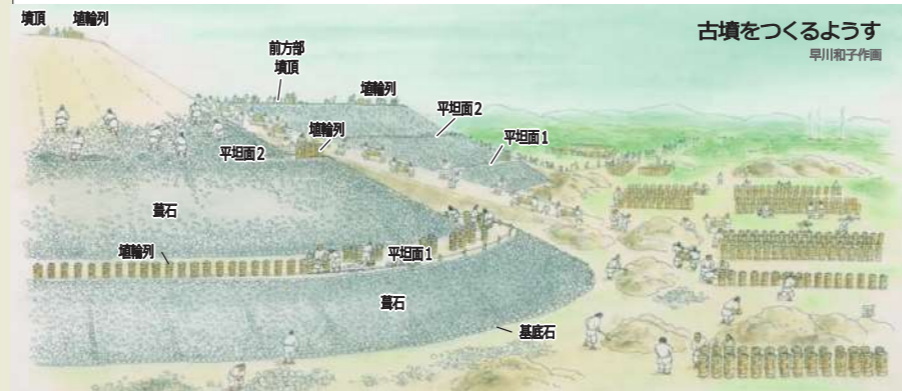
【1】

A1 (594×841mm)

網野銚子山古墳のすがた



網野銚子山古墳は、墳丘の長さ 201m、高さ 17m の前方後円墳です。頂上の円形の広場（墳頂）の中心付近にお墓の主が葬られていると考えられています。墳丘は 3 段に築かれ、墳丘が雨などで崩れるのを防ぐため、斜面全面には大小さまざまな石が積まれていました（葺石）。また、段ごとに造られた平坦面や墳頂の縁には、埴輪が並べられていました（埴輪列）。その数推定 2000 本。さらに、墳丘周囲には幅が広くて浅い堀を廻らし（周濠）、お墓の範囲を区切っていました。



【2】

A1 (594×841mm)

発掘調査でわかったこと

墳頂や平坦面に並べられた埴輪の周りには、小さな丸みのある玉石が敷き詰められていました（礫敷）。また、墳丘がくびれた部分の平坦面は、後円部側から前方部側へゆるやかに下るスロープ状の構造になっていました。



前方部の上段斜面のコーナー部分にも、葺石が残っていました。



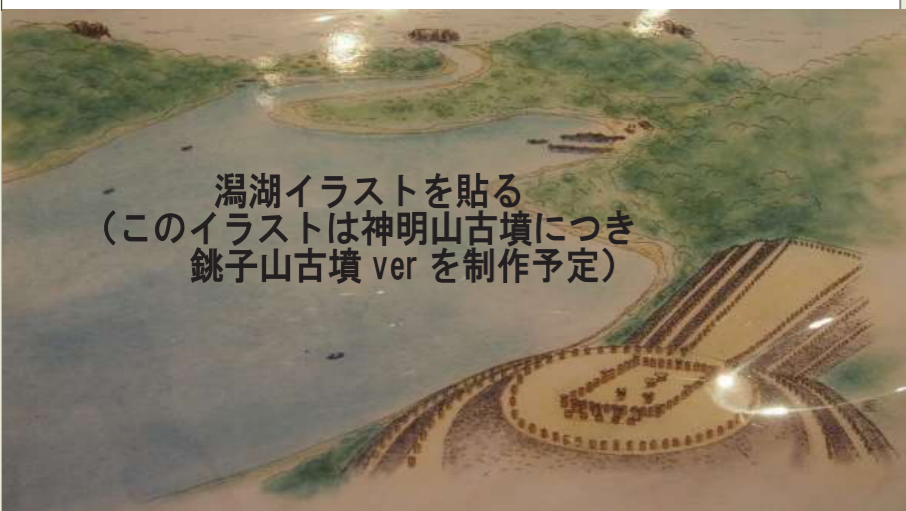
前方部のコーナー



墳丘の東側は、最大幅 42m・深さ 1m 程度の堀（周濠）が掘られていました。反対の西側（市街地側）は崖面を上手く利用し、海から古墳がより高く見えるよう工夫されていました。

【3】

海の古墳と日本海交易



古墳が造られた時代、現在の網野の市街地には海岸線が入り込み、潟湖と呼ばれる天然の良港となっていました。この港を見下ろす丘の上に網野銚子山古墳が造られていることから、この古墳には、海を通じて日本海側の地域や朝鮮半島との交易を行っていた有力者が葬られていると考えられています。

丹後地域では、すでに弥生時代の中ごろから朝鮮半島などの交易が盛んで、最先端の物や技術を手に入れたことが、遺跡から出土する当時貴重な鉄やガラスなどや、それら工房跡の発見からわかります。このような他地域との交流を背景に、丹後地域は独自の勢力をもつこ



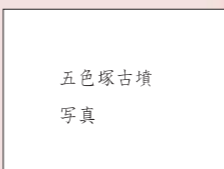
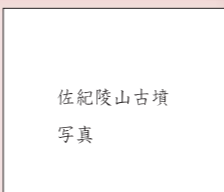
【4】

ガイダンス施設パネルの方向性

- ・対象 古墳の事が好きな愛好家も納得できる内容
- ・サイズ・色 部屋の広さを考えた大きさ 色は壁の色とともに、ユニバーサルデザインを考慮したものに（UDフォントを使用）。
- ・内容 大きいパネルは、一般的な観光客向けの内容 小さいパネルは、古墳愛好家を想定したやや詳しい内容だが、一般観光客や児童生徒も読むことを想定しルビを付す。
- ・その他 現地のパネルで全てのニーズに対応することは難しいため、京丹后市HPの網野銚子山古墳特設ページや、「京丹後歴史文化めぐりマップ」等を活用し、子供向け、マニア向け等様々なニーズに対応した内容を充実させていく。また、インターネット環境に不慣れな方にも対応するため、パネルにできないものはラミネート加工した印刷物を現地に掲示などする。

5 ピンポイント銚子山 墳丘の形 ヤマト王権の王墓とそっくり! 佐紀陵山古墳となぜ似ているの?

前方後円墳は3世紀前半または中頃に現れ、7世紀前半までの400年の間に、北海道と東北地方の一部および沖繩を除く全国に広がりました。前方後円墳は全国で4～5千基見つかっていますが、その形はさまざまです。しかし、ヤマトから離れた地域で、初期のヤマト王権の巨大な前方後円墳の形をそっくりに真似た古墳が見つかることがあります。



網野銚子山古墳は佐紀陵山古墳（日葉酢媛命陵）（垂仁天皇の皇后）/奈良市/全長207m）と墳丘の形がとても似ています。同じくよく似るとされる五色塚古墳（兵庫県神戸市/全長194m）・御墓山古墳（三重県伊賀市/全長180m）などとともに、ヤマト王権との強いつながりがあったものと考えられます。

6 ピンポイント銚子山 埴輪 丹後型円筒埴輪や形象埴輪 独自の円筒埴輪はいわゆる丹後王国の証?

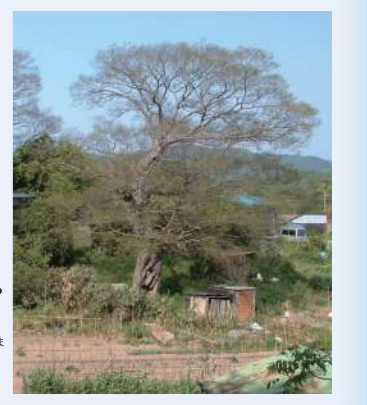
網野銚子山古墳には、「丹後型円筒埴輪」という丹後地域でしか見つかっていない埴輪が並べられていました。通常の円筒埴輪は土管を立てたような形ですが、この円筒埴輪は筒状の上部をドーム状にすばませた特徴的な形をしています。なぜこのような形をしているのかは、はっきりとはわかっていません。古墳からは、盾・蓋・家・甲冑などの形象埴輪も少しだけ見つかっています。さまざまな埴輪が古墳を彩っていました。



7 ピンポイント銚子山 浦島伝説 浦島児邸宅伝承地と皺覆 投げつければしわが無くなるかも?

網野銚子山古墳と寛平法皇陵古墳の間にひっそりとたたずむ「皺覆」の跡。残念ながら平成16(2004)年10月の台風23号で幹が折れ、しばらくして枯れてしまいましたが、ここには「皺覆」と親しまれた大きな木の木がありました。この木には、網野に残る浦島伝説の1つで、玉くしげ(玉手箱)を開けて年をとってしまった「浦嶋子」が、絶望のあまり顔のシワを引きちぎり、家の近くの木に投げつけたところ、木肌が凸凹になったという言い伝えがありました。

現在、折れた木(樹齢250～300年)の種から育てた子の木が数本、皺覆跡の周囲に植えられています。また、枯れた皺覆は保存処理を施し、丹後古代の里資料館と郷土資料館に展示しています。網野のまちには、このほかにもたくさんの浦島伝説が遺されています。



《9》駐車場・ガイダンス 注意看板

《利用時のお願い》

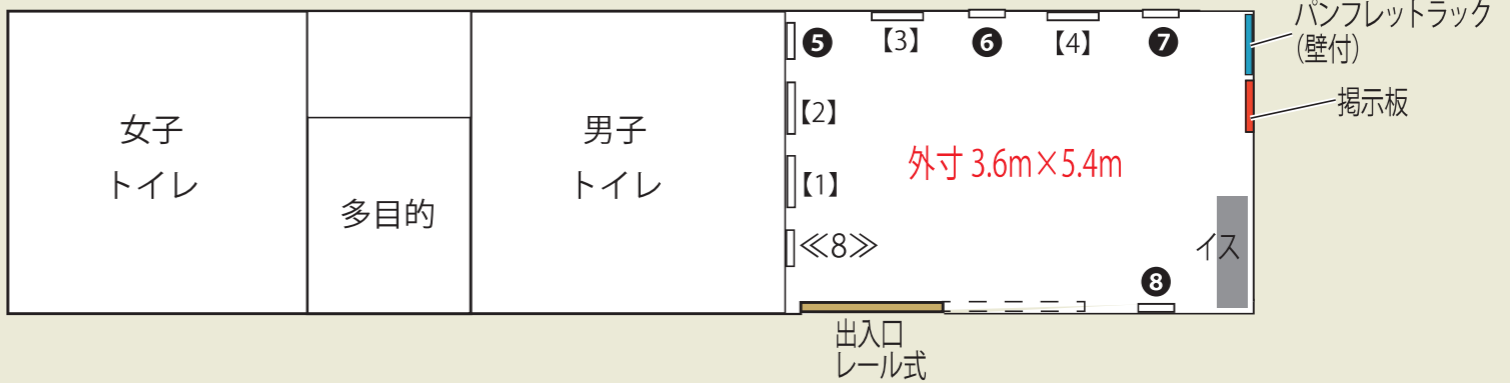
- ・火気厳禁・禁煙
- ・ゴミは持ちかえってください
- ・扉は閉めてお帰りください
- ・駐車場、屋内ともに宿泊禁止
- ・屋内へのペット連れはご遠慮ください

京丹後市管理委員会文化財保存課 099-0640

8案 京丹後の古墳・墳墓



A1 (594×841mm) : パネル【1】【2】【3】【4】
A2 (420×594mm) : パネル【5】【6】【7】【8】



【附】2in1【表】